

一、われわれは、自由で民主的な社会をつくり、世界の平和と文化国家の発展に貢献する。
 二、われわれは、教育専門職としての使命を自覚し、健全な青少年の育成に努める。
 三、われわれは、社会的責任を自覚し、国民の支持のもとに中正不偏の教育を推進する。
 四、われわれは、教職員の社会的・経済的地位と資質の向上に努める。
 五、われわれは、主体性を尊重し、同志の結集を図る。

全日教連

教育新聞

The National Teachers Federation of Japan

全日本教職員連盟(全日教連)ホームページ
URL: <http://www.ntfj.net/>

発行所: 全日本教職員連盟(全日教連) 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地 半蔵門村山ビル TEL.03(3264)3861 毎月10日発行 定価1部50円 (年1,000円送料とも) 会員の購読料は会費の中に含む

おもな記事

- 第1次中央要請行動、第2次中央要請行動… 2面
- 第215回執行委員会、第83回評議委員会… 3面
- 教育皆伝、単位団体あれこれ、特別寄稿… 4面

秋季入学に関して反対を表明

全日本教職員連盟

文科科学省へ意見書提出

全日教連は、文科科学省に対し、秋季入学に関する意見書を提出した。提出内容は以下の二点の理由より現状では反対とする意見書を提出した。



全日教連 YouTube において意見表明する島村暢之全日教連委員長

「一つ目の理由として現在学校現場においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止で行われた臨時休業からの学校再開に向けた中でどのように学びの保障を行っていくかという課題がある。これに加え、学校における働き方改革の推進、新学習指導要領への対応等様々な課題が山積している。このような中で秋季入学に関する業務が増えることについては、教職員団体として認めることはできないと考える。

二つ目としてこの秋季入学に関して様々な課題がある。例えば園児児童生徒に関することとして、さらに教職員においては、園児児童生徒の増加に対応して教室や教員、教材の確保また、その準備等もある。法令に

すでに入園入学している子供たちについて進級や卒業が約五ヵ月先に延びること、入学試験、資格認定試験の時期ある。これは、卒業時期と就職時期のずれが発生してしまう。このようなことをどう解消していくのか、また、これから入園入学する子供たちの年齢の範囲を幼稚園・保育園では同学年であっても小学校では、生まれ月によって九月までに満六歳を迎えるか迎えないかによって学年が異なる。

国会議員への表敬訪問・要望活動

教育現場の実情を国会議員へ



衆議院議員岸田文雄氏

国会議員との要望活動の様子
衆議院議員鈴木俊一氏



衆議院議員山口泰明氏

衆議院議員福田朋美氏

衆議院議員下村博文氏

四月七日(九日の三日)間に分け、全日教連事務局専従は、国会議員へ要望活動を含む表敬訪問を行った。

要望活動では、特に新型コロナウイルス感染症対策について、児童生徒の学びを保障することも安心・安全な学校運営を可能とするための予算を確保し、国会議員の方々に、時折、質問を交えながら熱心に耳を傾ける等、全日教連の要望に対する賛同を示した。

全日教連は、今年度も現場の状況についてしっかりと情報収集し、教育環境の改善・充実に向け、迅速に行動していく。



衆議院議員福山守氏

衆議院議員平井卓也氏

衆議院議員船田元氏



参議院議員有村治子氏

衆議院議員浮島智子氏

衆議院議員古田圭一氏

【全日教連 YouTube】
「秋季入学に関する意見表明」
https://www.youtube.com/watch?v=uS_hkHZUTlw&t=133s

子供たちの学びの保障に係る教育予算の拡充等を国会議員へ求める!

国会議員へ第三次中央要請行動

全日教連は、五月二十一日から二十六日の四日間、三十二名の国会議員に対して第三次中央要請行動を行った。今回、第二次補正予算の閣議決定前に、学校再開時に必要となる人的資源の拡充や教育環境の整備等に係る予算の確保を働きかけたものである。また、議論が開始された秋季入学について全日教連の考えを伝えた。

要望(一)(二)(四)、四に連し、以下のものが第二次補正で実現した。

- ① 学習保障に必要な人的資源の確保
- ② 学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援経費一校当たり上限一〇〇万円(三〇〇万円)
- ③ 「子どもの見守り強化アクションプラン」を踏まえた見守り体制強化十一億円
- ④ また、要望五の総務省の防災用Wi-Fiを教員等に開放することについては、国会議員の方々の働きかけもあり「防災Wi-Fi」設備の活用については、平時において、

環境等の課題が解決されていない。

今回要望した国会議員は次の通り(五十音順)

【衆議院議員】
浮島智子、大野敬太郎、河村建夫、岸信夫、高村正大、後藤田正純、棚橋泰文、野田聖子、平井卓也、福山守、船田元、古田圭一、古屋圭司、榎屋敬悟、松野博一、武藤容治、築和生、山口俊一、義家弘介

【参議院議員】
赤池誠章、有村治子、磯崎仁彦、上野通子、江島潔、大野泰正、北村経夫、中西祐介、林芳正、三木亨、三宅伸吾、山本博司、渡辺猛之

(敬称略)

要望結実

要望内容「学びの保障」
総合対策パッケージに盛り込まれる
臨時中央要請行動(文科科学省)

五月二十一日、全日教連は、文科科学省に対し、学校再開に向けた「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動の実施における「学びの保障」の方向性について(通知)」を実現するための教職員等の人的資源の拡充や指導事項の重点化等大幅な予算措置等を要望した。

その結果、文科科学省「学びの保障」総合対策パッケージの中には、上記第二補正に盛り込まれた人的支援としての加配教員の増員や物的支援としての学校再開支援経費の他に、以下の施策や方針が盛り込まれた。

【結実した内容】

- 一 学校を再開する際に必要な、子供たちの学びの保障に係る予算を確保すること
- (一) 文科科学省緊急経済対策パッケージに盛り込まれた教員の加配
- (二) 学校再開時に不登校となった児童生徒等への支援のため、スクールカウンセラーによる学校におけるカウンセリングの機会を確保すること
- (三) 高等学校等についても地域間格差無くオンライン学習が実施できるよう、生徒一人一台のPC等端末の整備
- (四) 新型コロナウイルス感染症の疑いのある生徒への教材や配布物等の郵送費及び長期休業短縮による空調設備の追加電気使用料等の学校運営費の長期休業を短縮して行う教育活動での熱中症対策として、特別教室及び体育館に空調設備を設置すること
- (五) 分散登校により、集団登校等が困難なことを鑑み、児童生徒の登下校時の安全確保のための予算措置として、スクールガードの増員を図ること
- (六) 授業日の確保のための土曜授業や補習等の実施において、代休の取得が困難なことを想定し、緊急対応としての教職調整額の拡充や手当の新設等の代替措置を講ずること
- (七) 九月入学については、現在の状況に加え、入試や就職等児童生徒に関することや、教職員の勤務条件・環境の整備等の多角的な視点から慎重に協議すること
- (八) この他にも、教員免許の有効期間の延長により、更新講習受講の猶予を可能とする通知が发出される等全日教連の要望の成果が現れている。今後も、現場の声を伝え、改善を求めていく。